

平成29年度

# 事業報告書

(概要版)

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

一般社団法人 **日本健康倶楽部**

## 平成 29 年度事業報告書

政府は、日本再興戦略において、世界最先端の健康立国に向けて、産業競争力における強化を推進している。

厚生労働省 健康局では、健康増進法の一部を改正し、受動喫煙防止に関わる法案の制定により国民の健康増進と環境整備を推進している。また、21世紀における国民健康づくり運動、健康日本21（第二次）は、健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活習慣病の発症と重症化予防の徹底など目標達成の実現を目指している。更に、特定健康診査（メタボ健診）、特定保健指導は、実施率向上を目的に進められている。「データヘルス計画」の推進、経済産業省等と共同する「健康経営」の普及は、大企業から中小企業へとその広がりを見せている。

当法人は、昭和42年の法人設立から創立50周年を迎えた。社会環境の変化に合わせて、健診事業の普及を拡大するとともに、プライバシーマークの認定、各委員会や専門分科会の開催の他、クレーム・ヒヤリハット情報の収集・分析など各種事業の実施を通して品質の向上に努めてきた。また、巡回健診評価機構を設置し、全国の巡回健診における精度品質向上にも努めてきた。

平成29年度は、これまでの活動を総括すべく、50周年記念事業としてシンボルマークの設定、記念式典及び全国大会の開催、健康日本50周年特集及び記念情報誌「元気がいちばん！毎日が健康生活」の発刊、「健診スタッフガイドブック」の作成などに取り組んだ。

データ集計・分析事業では、これまでの5年間にわたって蓄積した成果を第58回日本人間ドック学会で発表した。このデータ集計・分析事業は、高齢化対策を始め「データヘルス計画」、「健康経営」などのデータ資産の活用事業分野へ協力を実施している。

また、健診事業は、年間200万人余の受診者数にまで成長した。今後、更なる成長と社会に貢献することが重要である。

## 1、当法人の平成 29 年度に関する事項

### (1) 従たる事務所の状況

北海道札幌市北区北七条西四丁目 1 番地 2  
富山県富山市二口町四丁目 3 番地 1  
福岡県福岡市東区松島三丁目 29 番 18 号  
千葉県佐倉市井野 1479 番地  
沖縄県沖縄市字登川 3169 番地  
宮崎県宮崎市本郷南方字上無田 3495 番地 4  
兵庫県高砂市美保里 25 番 32 号  
山口県周南市若宮町 1 番地の 51  
神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷四丁目 5 番地 2※  
福岡県北九州市戸畑区中原西三丁目 3 番 16 号  
長崎県諫早市多良見町中里 129 番地 9  
熊本県熊本市南区江越二丁目 19 番 33 号  
鹿児島県日置市伊集院町妙円寺一丁目 72 番 8 号  
東京都江戸川区東葛西 5 丁目 27 番 2 号  
兵庫県朝来市和田山町東谷 385 番地  
愛媛県松山市高岡町 90 番地 5  
茨城県鹿嶋市宮中三丁目 6 番地 7  
埼玉県さいたま市浦和区常盤三丁目 5 番 11 号

(登記順)

※変更前：神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷四丁目 4 番地 4  
平成 30 年 3 月 16 日移転  
平成 30 年 4 月 5 日登記

## (2) 支部状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

支部名	所在地	備考
北海道支部	北海道札幌市北区北七条西 4-1-2 KDX 札幌ビル 9F	診療所開設
茨城支部	茨城県鹿嶋市宮中 3-6-7 下生ビルⅡ 1F	診療所開設
浦和支部	埼玉県さいたま市浦和区常盤 3-5-11 小川ビル 1F	診療所開設
千葉支部	千葉県佐倉市井野 1479	診療所開設
東京支部	東京都江戸川区東葛西 5-27-2 アゴラビルディング 2F	診療所開設
横浜支部	神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-5-2 瀬沼ビル 2F	診療所開設
北陸支部	富山県富山市二口町 4-3-1	診療所開設
兵庫支部	兵庫県高砂市美保里 25-32	診療所開設
和田山支部	兵庫県朝来市和田山町東谷 385	診療所開設
山口支部	山口県周南市若宮町 1-51	診療所開設
エヒメ支部	愛媛県松山市高岡町 90-5	診療所開設
北九州支部	福岡県北九州市戸畑区中原西 3-3-16	診療所開設
福岡支部	福岡県福岡市東区松島 5-5-7	診療所開設
長崎支部	長崎県諫早市多良見町中里 129-9	診療所開設
熊本支部	熊本県熊本市南区江越 2-19-33	診療所開設
宮崎支部	宮崎県宮崎市本郷南方字上無田 3495-4	診療所開設
鹿児島支部	鹿児島県日置市伊集院町妙円寺 1-72-8	診療所開設
沖縄支部	沖縄県沖縄市登川 3169	診療所開設

分室名	所在地	備考
茨城支部鹿嶋分室	茨城県鹿嶋市光 3 番地	
千葉支部西船橋分室	千葉県船橋市葛飾町 2-340 フロントンビル 4F	診療所開設
和田山支部氷上分室	兵庫県丹波市柏原町柏原 4283-37	
和田山支部西脇分室	兵庫県西脇市和田町円遠 688-89	

連絡事務所名	所在地	備考
茨城支部栃木連絡事務所	栃木県宇都宮市峰 3-7-4	
兵庫支部広島連絡事務所	広島県広島市安佐南区川内 5 丁目 20-19-8	
兵庫支部徳島連絡事務所	徳島県徳島市山城西 4-16-5	
福岡支部佐賀連絡事務所	佐賀県佐賀市本庄町本庄 507-8	

※鹿児島支部大峯分室 平成 30 年 4 月 1 日業務開始(平成 29 年度第 3 回理事会にて承認済み)

### (3) 役員会等に関する事項

#### 1) 総会

	議事事項	会議の結果
第 66 回定時社員総会 平成 29 年 6 月 23 日	1. 平成 28 年度事業報告書・貸借対照表及び 正味財産増減計算書、公益目的支出計画実施 報告書の報告の件 2. 任期満了に伴う役員の選任の件	各議題につき、 承認

#### 2) 理事会

	議事事項	会議の結果
第 1 回理事会 平成 29 年 6 月 15 日	1. 平成 28 年度事業報告書・貸借対照表及び 正味財産増減計算書及び附属明細書類、公益 目的支出計画実施報告書の承認の件 2. 第 66 回定時社員総会の招集の決定の件 3. 法人運営に係る承認の件 4. 特別表彰並びに永年勤続表彰者決定の件	各議題につき、 承認
第 2 回理事会 平成 29 年 6 月 23 日	1. 役付理事の選任の件	議題につき、 承認
第 3 回理事会 平成 30 年 3 月 16 日	1. 平成 30 年度事業計画及び予算承認の件 2. 法人運営に係る承認の件	各議題につき、 承認

#### 3) 支部担当理事協議会

	議事事項	会議の結果
第 1 回 支部担当理事協議会 平成 29 年 9 月 8 日	1. 上半期事業報告 2. 業務報告 3. その他検討、報告等	各議題につき、 報告
第 2 回 支部担当理事協議会 平成 29 年 12 月 8 日	1. 事業報告 2. 検討事項 3. 業務報告	各議題につき、 報告、検討

### (4) 許可、認可、承認等に関する事項

該当ありません。

### (5) 株式を保有している場合の概要

該当ありません。

## 2、法人運営としての取り組み

### (1)業務総点検

- 1)巡回健診評価機構の書類審査等の実施と業務改善
- 2)プライバシーマーク内部監査の実施と業務改善
- 3)監事による会計監査の実施と業務改善
- 4)健診対応マナー、事故等や緊急事態発生時の対応、また当法人職員としての意識改革や自己点検を促すため、健診実務必携「健診スタッフガイドブック」を発行し、全職員へ配布した。

### (2)創立 50 周年記念活動

#### 1)『健康日本』50 周年記念 単行本発行

健康情報誌「健康日本」にこれまで掲載した記事をもとに、再編集、構成し、元気に過ごすためのノウハウをまとめた単行本を発行した。

『元気がいちばん！毎日が 健康生活』  
別冊『日本健康倶楽部 50 年…これから』

#### 2)『シンボルマーク』

「将来の日本の元気と健康維持増進を図る願いを象徴する

日本健康倶楽部シンボルマークデザイン」募集

募集期間 平成 29 年 6 月～平成 29 年 8 月 15 日

応募総数 383 点（郵送、メール、当法人ホームページからの申込み）

賞 金 30 万円（1 点）

採用方法 選考員として役員、支部長、委員、事務局等による投票を行った。

弁理士による「商標調査」を実施

最優秀作品 1 点に決定 商標登録手続き中

平成 30 年 3 月 9 日 創立 50 周年記念式典内において受賞者表彰

採用者 濱口温男氏（高知県高知市）の作品に決定

マ ー ク

#### ●作品説明



赤い円は日の丸（日本の象徴）で、その中にけんこうの「け」、日本の「日」、「Japan Health Corporation」の「H」を印象づけて未来に向けて「日本の元気と健康」をシンボライズしました。また円を駆け抜ける3つのラインは、「活力」、「元気」、「健康」を意味し、健康づくりや健康を支え合う「友達・家族」のつながりも表しています。

### 3)創立 50 周年『記念式典』開催

日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金） 18 時～20 時

会 場 東海大学校友会館 阿蘇の間

参加者 209 名（役員、法人会員、元役員、元法人会員、職員、関係団体等）

主 賓 参議院議長 伊達忠一議員（代 秘書官 伊達知見氏）

厚生労働省大臣官房審議官 吉永和生氏

式 典 シンボルマーク 最優秀作品表彰式

各支部活動紹介（映像） 他

#### 4)『全国大会』開催

スローガン『みんなで築こう新時代 ～これからの50年～』

日 時 平成30年3月10日(土) 9時～14時30分

会 場 都市センターホテル 2F コスモスホール

参加者 161名(職員、役員)

プログラム

①開会挨拶「日本健康倶楽部の体制変化と歩み」 山本茂 理事長

当法人の変遷、全国大会の変遷、各分科会が発展してきた経緯等について

②各分科会 座長による報告会

平成29年度の分科会の開催報告内容を主体とし、分科会の変遷、参加者数の推移、今後の分科会のあり方等について

③講演「健診データ分析結果の活用について」(折茂淳顧問)

④ポスターセッション「健診現場における創意工夫の写真・部材展示」

### (3)品質向上月間

平成29年11月の1ヶ月間を「品質向上月間」とし、以下の取組みを実施した。

#### 1)顧客アンケートの実施

健診を実施した顧客へアンケート用紙を配布し、事務局宛に郵送、FAXにて回答を得た。また、ホームページから回答を頂く方法も取り入れた。

アンケートの内容は、渉外担当者の事前打合せや当日スタッフの対応、受診者からの苦情の有無、問診項目の量、結果返却の時期や内容など12項目を設定し、136票(平成28年度は88票)の回答を得た。前年度より50票近い回収数の増加があったものの、支部によって回収数にバラツキがみられ、バラツキの是正が今後の課題である。

#### 2)受診者アンケートの実施

各支部の健診受診者へアンケート用紙を配布、健診会場で回収または返信用封筒にて事務局宛に郵送してもらう方式をとった。

アンケート内容は、健診現場におけるスタッフの接遇マナー(身だしなみ、応対等)に対する評価を中心に設定し、5,687票(平成28年度は1,595票)の回答を得た。回収数が大幅に増えたものの、回収数が2,000票近い支部もあれば50票に満たない支部もあり、支部によるバラツキの是正が今後の課題である。

#### 3)トラブル・クレーム等収集・報告(ヒヤリハットまで収集)

トラブル・クレーム等報告件数の増加に向けて、前年度と同様にエクセルによる回答フォームを活用し、トラブル・クレーム等報告を収集・分析した。報告件数は増加しているが、支部によってトラブル・クレーム等報告への取り組み姿勢に温度差があり、今後もトラブル・ヒヤリハット事業の更なる活性化に向けて取り組む予定である。

#### 4)啓発ポスターの作成と掲示

前年度に作成したオリジナルポスター「必ず報告“ヒヤリハット”～あなたのヒヤリが仲間を守る～」を一部改訂し、各支部や健診会場に掲示した。

### 3、各事業の活動報告

#### (1) 国民の健康の保持増進のための啓発普及事業

##### 1) 健康情報誌「健康日本」発行事業

毎月約 9,500 部、年間約 114,000 部を発行し、法人会員及び支部を通じての啓発普及活動並びに個人の購読希望者への頒布を実施した。

##### ① 「ありがとう創立 50 周年」特別企画

ア) 「とびきりの元気 はじける笑顔」表紙写真一般公募による 笑顔の写真掲載

イ) 40 頁編集 以下ウ) の記念企画により増頁 (4 頁増)

ウ) 記念企画: 「データヘルス計画 日本健康倶楽部発 健診データのクロス集計から見えてくるもの」当法人診療所長監修

##### ② 「元気生活 サポート隊」(医療従事者紹介ページ) 当法人支部医療従事者を掲載

##### ③ 「季節をいただくかんたん料理NOTE」

平成 30 年 2 月号『山菜炊きおこわと里芋まんじゅうのすまし汁』(和田山支部)

#### 2) 支部での印刷物の配布等による啓発普及(支部独自製作分)

#### (2) 講演会及びセミナーの開催事業

##### 1) 事務局主催講演会(東京開催)

平成 29 年度「健康セミナー」

『これまでの医療制度と今後のあり方』

##### 【開催概要】

日 時: 平成 30 年 3 月 9 日 13:00~16:30

場 所: 有楽町朝日ホール

参加費: 無料

参加者: 345 名

講演会: 特別講演「健康長寿の延伸に向けた予防・健康の推進について」

横倉 義武 氏 (世界医師会会長、公益社団法人日本医師会会長)

記念講演「血液一滴でがんがわかる時代」

落谷 孝宏 氏 (国立研究開発法人国立がん研究センター研究所  
分子細胞治療研究分野 分野長)

基調講演「医療・健康づくりの施策の現状と今後」

椎葉 茂樹 氏 (厚生労働省 大臣官房審議官)

座談会: 座 長 行天 良雄 氏

ゲスト 椎葉 茂樹 氏

落谷 孝宏 氏

資料提供『2025 年度に向けた医療、医療保険制度改革について』

白川 修二 氏 (健康保険組合連合会 副会長) より

後 援: 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団、健康日本 21 推進全国連絡協議会

##### 2) 当該年度実施の講演会、セミナー、イベントなど支部が主催・協賛したもの

地域住民を対象とした健康フェスタ、健康チェック、検査結果の説明会や保育園の関係者を対象とした説明会や実践発表会等を各支部で主催・協賛し、約 4,200 人が参加した。



### 3) 支部主催並びに共催による講演会等の実施(事務局助成分)

#### ①『第8期 食育研究会 実践発表会』

【テーマ】 保育における食育 ～保育を支え実践で得た効果～

【主な内容】

- ・ 保育園の食育実践の発表
- ・ 食育講話、パネルディスカッション、展示等

【開催概要】

日 時：平成30年2月17日 12:30～17:30

主 催：沖縄支部

講師等：沖縄支部 管理栄養士 笠原 寛子、他 沖縄県内保育園

場 所：沖縄市農民研修センター大ホール

参加者：225名

#### 4) 当該年度実施の講演会、産業医としての講話など他団体主催へ協力したもの

他団体が主催する健診や健康に関する講話、ストレスチェックやメンタルヘルスに関する研修会等に当法人産業医が協力し、約650人が参加した。

### (3) 国民の公衆衛生の向上に資する調査研究事業

#### 1) 研究開発事業(独自研究)

当法人の健診データを集計・分析した。平成29年度は、平成28年度と同様に支部別、性・年齢別、業種別、職種別、地域別のクロス集計を実施した。また、関東地区のデータをより充実させるべく、医療法人社団生光会からデータの提供を受けた。

分析結果を「健診データの集計と解析に関する報告書」として取りまとめ、支部集計編、性・年齢編、業種編、職種編、地域編の5部作に編集した。

また、個別事業所についての解析も進め、全体集計のデータ、同業種のデータと比較解析した。今後はこの結果を渉外活動に活用できるツールとして各支部に提供していく予定である。

なお、本結果について下記のテーマで第58回日本人間ドック学会学術大会(平成29年8月24、25日開催)にて発表した。

#### ①演 題：一般社団法人日本健康倶楽部 健診データの分析と活用

発表者：折茂淳(顧問)

内 容：受診者の属性や健康に対する意識、生活スタイルが、血液検査や判定結果にどのように影響しているかを分析した結果の概要について報告し、分析結果の中から特徴的な事例や興味深い事例のいくつかを紹介した。

#### ②演 題：一般社団法人日本健康倶楽部 健診データの精度管理サーベイ

発表者：山本久則(鹿児島支部長)

内 容：血液検査項目の支部間のデータレベルを確認する事を目的に精度管理サーベイを実施した結果について報告した。

#### 2) 支部で実施した調査研究事業(単独または共同、参加)について

主な内容として、以下の事業を支部で実施した。

- ・『高齢者就労者のための身体・認知機能評価システムの開発』(共同)

健診時等に短時間で実施可能な測定項目を選定し、測定結果及び改善プログラムを提供

- ・『千年カルテプロジェクト』（共同）

全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究（医療機関、健診機関間でのデータ共同利用）

#### **(4) 国民の安心安全の確保のための機能評価事業**

##### **「巡回健診評価機構」**

##### **1) 巡回健診評価機構の活動**

① 評議員、調査指導委員の改選

② 書類審査基準（平成 28 年度版制度要綱集）の改訂

事業概要書添付書類審査内容の見直しを図り機能管理担当者を通じて全機関に配布した。

##### **2) 調査表を基に、認定期間中の審査を実施**

① 対象；19 機関

② 被審査機関より提出された事業概要書及び付属資料について、調査指導委員及び調査指導委員長は審査を行い、各機関へ指導書を提示した。

③ 被審査機関は、指導書を基に改善処置報告書を作成し、改善を行った。

##### **3) 調査指導委員検討会の開催**

調査指導委員における判定基準の統一を図るため、各指導事項等の事例について検討した。

#### **(5) 国民の公衆衛生の向上のための健診データ活用事業**

##### **1) 健診データ活用事業**

当法人の健診データ分析及び活用方法について検討し、判定閾値の設定、判定呼称と定義づけ、データ実測値及び質問票の改善の推進、支部別、性・年齢別、業種別、職種別、地域別、個別事業所の統計解析等を実施した。

また、日本医師会附属の研究機関である日医総研の「総合的な健診の実施における健診データのあり方に関する研究」や政府の健康医療戦略推進本部が推進する次世代医療 I C T 基盤協議会の 1,000 年カルテプロジェクトのひとつである、宮崎県等が進める E H R 「はにわネット」に健診データを提供することで、これに協力した。

##### **2) 支部で実施した健診データ等の利活用**

- ・ 健保組合適用事業所ごとに健診結果評価シートを提供
- ・ 病態栄養学会年次学術総会での発表（食事の速度と腹囲に関して）
- ・ 特定国保加入若年者データ集計及び類似団体との比較
- ・ 健診結果に基づく運動・栄養指導、講座等の提案

(6)健康増進実施事業

項目	団体数		人数	
	契約数	来所契約数 (内数)	受診者数	来所受診者数 (内数)
①地域健診(地域保健)	223	42	237,926	1,013
②職域健診(合計)	18,198	5,460	952,047	72,312
②-1 職域健診(協会けんぽ)	10,953	2,412	418,910	26,425
②-2 職域健診(健保組合)	1,282	1,478	88,682	21,368
②-3 職域健診(共済組合等)	328	109	30,156	6,188
②-4 職域健診(その他)	5,635	1,461	414,299	18,331
③学校健診(学校保健)	1,203	16	708,492	272
④骨粗しょう症検診	49	33	13,444	208
⑤歯牙検診	7	0	3,953	0
⑥郵送検診	1	0	30	0
⑦検体検査	241	0	26,886	0
⑧ストレスチェック	482	0	66,452	0
⑨その他	676	245	31,599	631
合計	21,080	5,796	2,040,829	74,436

(7)健康相談実施事業

1)特定健康診査及び特定保健指導

【特定健康診査】

項目	団体数		人数	
	契約数	来所契約数 (内数)	受診者数	来所受診者数 (内数)
①国保	12	1	25,152	8
②-1 協会けんぽ	275	0	37,430	112
②-2 健保組合	11	8	62	8
②-3 共済組合等	5	1	210	3
②-4 その他	5	0	5,500	0
合計	308	10	68,354	131

【特定保健指導】

項目	団体数		人数	
	契約数	来所契約数 (内数)	受診者数	来所受診者数 (内数)
①国保	19	0	718	0
②-1 協会けんぽ	546	70	3,528	162
②-2 健保組合	29	9	352	26
②-3 共済組合等	2	1	5	1
②-4 その他	36	8	1,344	153
合計	632	88	5,947	342

## 2) 健康相談及び指導等事業

項目	団体数		人数	
	契約数	来所契約数 (内数)	受診者数	来所受診者数 (内数)
①運動指導	6	0	1,650	0
②栄養・食育指導	15	4	629	201
③禁煙指導	154	0	398	0
④健康教育	18	1	1,240	146
⑤健康相談	6	0	90	0
⑥体力測定	4	0	579	0
⑦メンタルヘルス指導	9	0	62	0
⑧その他	0	0	0	0
合計	212	5	4,648	347

### (8) その他の事業

#### 1) 官庁、諸団体との協力・協調

新国民健康づくり運動である「健康日本21(第二次)」へ積極的参加

##### ○厚生労働省

厚生労働省は、生活習慣病の一環として、企業・自治体・法人等の参加のもと、「運動」「食生活」「禁煙」の3分野に「健診・検診の受診」を加え、更なる健康寿命の延伸を図るため「スマート・ライフ・プロジェクト」として国民運動を展開しており、当法人もこの運動に積極的に参加している。

##### ○健康日本21推進全国連絡協議会

健康日本21(第二次)に掲げられている各項の目標数値の達成に向けて、生活習慣病や社会環境の改善を図り、健康寿命の延伸等に資するための事業活動を実施している。

#### 2) 健診事業設備の充実(助成金による整備)

健診事業の充実・強化を目的に、健康増進車(メディカルチェック車)の助成金の確保を図った。